

事業所名

児童発達支援 ジャンプジャンプ緑ヶ岡

## 支援プログラム

作成日

2026 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		誰からも「愛され、信頼される」会社として成長していく 社員が自信を持って笑顔で輝ける会社であり続ける 地域に根差し、進化し続ける会社						
支援方針		未就学児から高校3年生までを対象に、体育館で専門の指導員と一緒にトランポリン・器械体操(マット、跳び箱等)を始め、ボール、縄跳び、リズム体操などの運動を行い、身体から脳を刺激し、五感に働きかけ全身の感覚や運動能力、集中力の向上を目指します。 『動から静』への切り替えを意識しながら、グループ活動などを取り入れ、社会性を育みながら特性に合わせた療育を行います。						
営業時間		11 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	活動前後の準備や片付けを通じて、身の回りのことを自分でできる力を育む 手洗いやトイレなどの生活習慣を学び、健康的な生活リズムを身につける 遊びの中で、食事や着替えなど日常生活に必要な動作を練習する 自分の気持ちを落ち着かせる方法を学び、安心して過ごせるようにする						
	運動・感覚	トランポリンやマット運動、その他運動を取り入れ、体を動かす楽しさを体験 ボール遊びや縄跳びを通じて、手足の協調運動を促進 リズム体操を取り入れ、音楽に合わせて体を動かすことで全身の感覚を刺激 触れる・握る・押すなどの感覚遊びを通して、手や指の使い方を学ぶ						
	認知・行動	「動から静」への切り替えを意識し、活動のメリハリをつける練習 短い指示を理解し、順番通りに行動できるよう支援 絵カードや視覚的なサポートを活用し、考えて行動する力を育てる 簡単なルールのある遊びを通じて、順番を守ることや待つ力を養う						
	言語 コミュニケーション	簡単なあいさつや返事をする練習を通じて、人と関わる力を育む 絵本の読み聞かせやリズム遊びを通じて、ことばの理解を深める 言葉がまだ出にくい子には、ジェスチャーや絵カードを活用した表現方法を支援 お友達や先生とのやり取りを増やし、相手に伝える楽しさを感じられるようにする						
	人間関係 社会性	お友達と一緒に遊ぶ経験を増やし、関わり方を学ぶ 簡単なルールのある遊びを通じて、「順番を待つ」「交代する」などの社会的スキルを身につける 友達や大人との関わりの中で、「ありがとう」「ごめんなさい」などの気持ちを伝える練習 遊びを通じて「貸して」「いいよ」などのやり取りを増やし、関係を築く力を育む						
家族支援		日々の活動の様子を伝え、家庭での関わり方のアドバイスを提供 子どもの発達に関する情報提供を行い、家庭と連携した支援を進める 保護者の不安を軽減するために、必要に応じて専門機関との連携をサポート			移行支援		就学に向けて、集団生活に慣れるためのプログラムを提供 小学校での生活を想定し、「座って話を聞く」「活動の切り替えをする」などの練習を取り入れる 家庭や学校と連携し、一人ひとりに合った移行のサポートを提供 就学先の先生とも情報を共有し、スムーズな学校生活が送れるよう支援	
地域支援・地域連携		地域の保育園・幼稚園、療育機関と連携し、スムーズな環境移行を支援 地域のイベントに参加し、地域の人との関わりを増やす 子どもたちが安心して生活できるよう、地域の支援機関と協力しながら環境を整備			職員の質の向上		定期的な研修を行い、発達支援の知識を深める 外部の専門家との連携を強化し、より専門的な支援が提供できるようにする スタッフ間で意見交換を行い、一人ひとりの子どもに合った支援方法を考える 最新の支援方法や教材を取り入れ、より良い療育環境を整備	
主な行事等		夏季・冬季レクリエーション週間・ハロウィンやクリスマスなどの各種季節イベント・トランポリン演技発表会(2年に1度)など						